



“心地よい”サウンドで
快適な走りをサポート

RUSH! MAC-MRD EV-003

気持ちよく走れるマフラーとして大人気のマックMRDからリード125用マフラーが登場するぞ。ワンランク上のスタイルを手に入れよう



LEAD125用EV-003 ¥55,200(税抜) *政府認証

LEAD125用EV-003-MB ¥61,000(税抜)も有り



シグナス用も 大人気!!

現行モデルのシグナスをよりスポーティに見せてくれるのがこのEVシリーズ。ボリッシュサインサーは¥55,200(税抜)、メタルブラックサインサーは¥61,000(税抜)で発売中



マジェSも ラインナップ!

EV-003-MB ¥61,000(税抜)
YAMAHA MAJESTY S *政府認証

発売後間もなく大人気モデルとなつたマジェS用。性能・見た目はそのままに、ビッグスクーターに負けないリア周りの迫力を演出してくれる。高級感あるブラックサインサーがポイントとなっているぞ。



車両サポートはコチラ

今回、車両提供したのは千葉県にある「ノザワホンダ」さん。今後もマフラー製作以外にも面白いコラボアイテムが登場するかも?!

NOZAWA HONDA
ノザワホンダ
千葉県船橋市海神東1-1366-1
☎047-420-0260
<http://www.nozawa-honda.co.jp>

これ以上音が出せなくなるのは
バイク乗り全体の死活問題だ!

JMCAでは騒音が一番の問題になつてきているんですね。音の大きなスクーターが街に溢れ、苦情が環境省に寄せられてどんどん規制が厳しくなつた。それが大きな原因となって2010年から始まつたのが加速騒音規制なんですね。スクーターの音がなぜうるさいのかは、パワーバンドにずっと入りたがるCVTという機構のためです。スクーターはずつとワ

ーッと加速し続けて走っているようなものですよね。ギアで任意に加速させるワケではなく、一番良いところで加速し続けるわけですよ。それで環境省に一番に挙げられたのはピックスクーターの騒音だったんですね。2010年4月1日以降に生産された車両にアフターマーケットのマフラーを取り付ける場合は認証を取りましょう。音の認証試

験をやるなら一緒に排気ガス検査もやってしまいましょうということで、JMCAのフレートが付いているものは音だけではなく排ガス関してもセットでバスしているので安心なんです。JMCAに入会して認証試験を取るといつメーカーさんはかなり増えてきましたね。法に触れているものですから、量販店さんなど販売店さんでも認証フレートが無いものは置いてもらえないなりました。2010年4月1日以降に生産されたオートバイに後付

けのマフラーを付けて走っていた場合、認証フレートが無いだけで定められた数値よりも大きな音は出せないです。それを今は現状よりもっと厳しくしようとMCAのマフラーを装着することは環境省に対してのアピールでもありますよね。皆で考えていくまでも



MACMRD代表
大内さん

初期型マジェスティをワイセコのピストンでホアアップしてキャブも変えて、「良いマフラーが無い」ということからマフラーを作り始めたのが最初の頃。もう15~16年前に「走れるスクーター」を作ったのがMACMRDなのだ



測定器は全ての音量を正確に捉えてくれる。数値がコンマ1でも許容を外されれば認定マフラーとしてのフレートは受けられないのです！

測定会場で
見かけた

超 最新マフラーコレクション

まだ発売前のマフラーが一堂に並ぶ会場。通常では当然撮影禁止なのですが、本誌スタッフは頑張りました。掲載許諾を頂いた超新作・発売前の二種マフラーをちょろっとご紹介です！でもほとんどがプロトタイプなのでご了承を！

